

卷頭言

近郊の山々と名所、旧跡を歩きませんか！

砂川(延)

明けましておめでとうございます。

昨年、実施され皆さん参加された各々山行では大きな事故もなく、新年を迎えることができたのは、皆さんの努力の賜物であり、新たな気持ちで山々を歩きたいと思っています。

山行計画で、新たなご提案ですが、神戸市から西へ東播、西播地区から岡山にかけての瀬戸内に沿って海岸沿いにある近郊の市町村に低山の山々が沢山ありますし、その地方の各所に名所、神社、仏閣他、名所旧跡が沢山あります。

こういう処は普段あまり訪れる機会は少ないと 생각しますが、会山行の計画として取り上げていってはと思います。

これらの山々には車を使わずとも、山陽電車やJRの各線を利用して、最寄りの駅から登山口まで少し歩く時間がかかるかもしれません。それでも時間がかかる場合は、事前に調べておくことが必要かどうかですが、地形図上で時間に余裕を持たせた計画で実施すれば問題はないと思います。

一番東の山々としては、六甲山系に入る須磨アルプス・旗振り山がありますが、西にたどれば、須磨海岸から海岸線を垂水まで（明石海峡や大阪湾を通過する大型船を眺めながら）海岸線の波際を歩くのも良いものです。

東から五色塚古墳、舞子公園、橋の科学館、明石海峡大橋、少し内陸部では（雄岡山、雌岡山）、天文科学館から明石城、平荘湖アルプス（飯盛山、升田山、神吉山、鍋山、嶽山）、高御位山系（高御位山、桶居山、鷹巣山）、石の宝殿、竜山、日笠山、小赤壁、小富士山、天下台山、高尾台山、増位山、書写山、美濃山、雄鷹台山等々、それぞれの山々の標高は海岸線に沿った山が多いことや里山でもあり、標高がそんなに高くないものもあるので、歩きやすいことが一番です。

もう一つは、故郷の歴史遺産の案内人をお願いして、自らの町の名所、史跡など、歴史遺産を巡ってみるのも、楽しいのではないでしょうか。又、昼食場所として地元の味を楽しめる人気の店を調べて置き、昼食の企画に入れておくと、楽しみが増えるのではないでしょうか。

最後に、山本正嘉先生の言ではないですが、山歩きは事故なく、ゆっくりと歩くことをテーマに、この2026年も事故のない山行の実現のため努力いたしましょう。



あけまして
おめでとう
ございます

